

アマチュア無線関連の伝送系計画書

2010 年度版

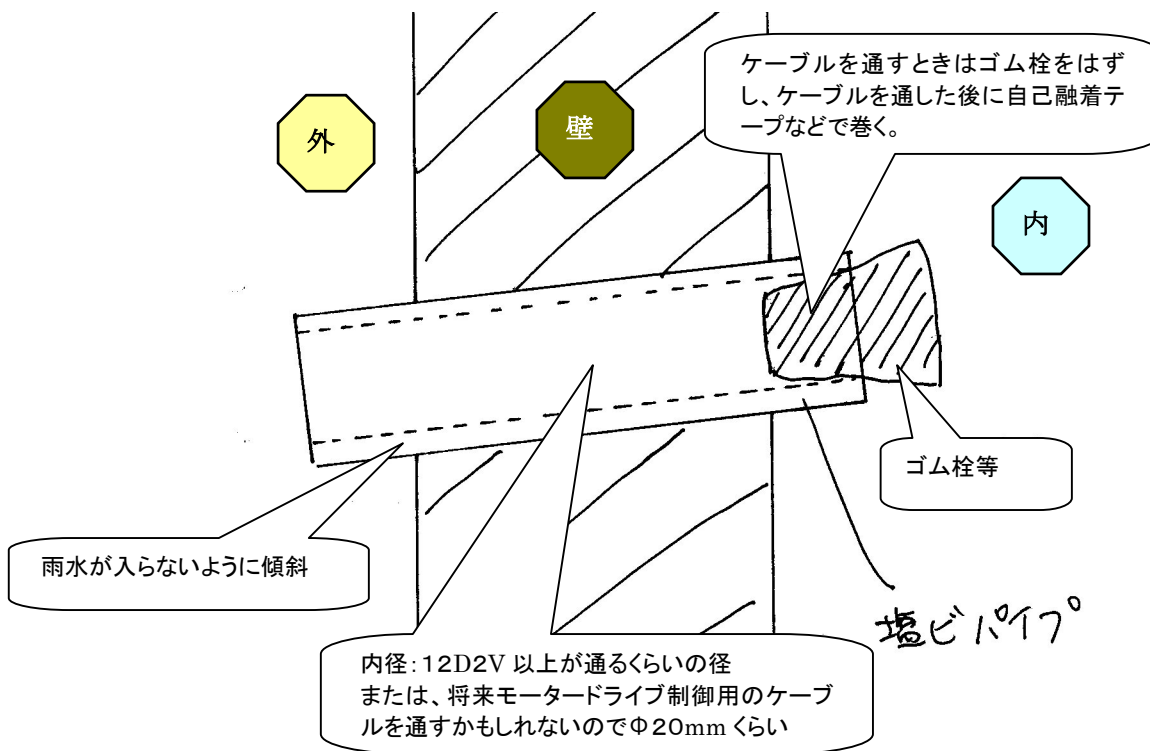
1) ケーブルの引き込みに関して

(ア) 現在、石川電気さんに工事していただいた引き込み口が 3 個あるが、うち一カ所は事務所、自宅間の LAN ケーブルにも使っており、今後の伝送系の試験などを行うにあたって引き込み口の数に関して増設を要する。

(イ) 引き込み口の方法について。

同軸ケーブルの引き込みは「常設」というよりは「実験」に近いので、簡単にケーブルの交換ができる方法を検討する。

(ウ) 引き込み口の案



4～5 口 (あけるスペースによって業者と打ち合わせて決める)

2) HF 帯アンテナに関して

(ア) 現在、7MHz,21MHz,28MHz 帯のトライバンド V 型ロータリーダイポールが上げであるが、SWR が不安定、7MHz 帯の調整がしにくい、7MHz 広帯域に対応していないこと等から、次項以降のように変更したい。

(イ) 7MHz 帯：昨年度から帯域が 100KHz 広がったことにより、現在のロータリーダイポールでは仮に SWR を調整したとしてもカバーし切れない。フルサイズのダイポール (またはインバーテッド V 型アンテナ) を設置する。

中心周波数は 7.6MHz くらいとするか？（要検討）

(ウ) 21MHz：太陽の黒点が今ひとつ活発にならないことにより「飛ばない・聞こえない」状態が続いているが、将来的には 3 エレ以上のビームアンテナをローテーターにより振りたい。（来年度以降検討。今年度は現在の V 型ローテターを使う）

(エ) 14MHz,28MHz は、現在考えていない。来年度以降に譲る。

特に、折角 2 アマとったのだから、14MHz は将来は出たい。

3) VHF、UHF 帯アンテナに関して(50MHz,145MHz,433MHz)

(ア) 当面は現行の GP アンテナ(50MHz,145MHz,433MHz)を使用する。

(イ) ただし、5D2V の同軸ケーブルがリグの下でトグロを巻いているので、これをなんとか解消する。（高周波なので、他の電気機器に影響を及ぼしていると思われる。とくにパソコンのスピーカー、オーディオのチューナーなど）

4) 1.2GHz 帯アンテナに関して

(ア) 那須大先輩から 1.2GHz 帯の 12 素子ビームアンテナを預かっている。

(イ) 現在、対応できる無線機はないため、今年度は考えず、来年度以降にて検討。

(ウ) 1.2GHz 帯のデジタル通信、とくに DD モードは感心がある。このモードを使えば、アマチュア無線の電波を使って、遠距離無線 LAN の構築が可能と思われる。

※JARL からグローバル IP をもらう必要がある。

5) 長波帯に関して

(ア) まったくやる予定は無し。

6) 1.2GHz を超える高周波数帯

(ア) 技術的には興味はあるが、今年度は予定無し。

7) モービル

(ア) ノアに 145MHz,433MHz のデュアルバンダーをつみたい。

予算次第。。。優先度は低いかも。